

2021-2022 年 IEEE 東京支部 新支部長就任のご挨拶

IEEE 東京支部 2021-2022 Chair 中野 義昭

(国立大学法人 東京大学 教授)

2021 年 1 月より 2 年間 IEEE 東京支部長を務めさせて頂くことになりました中野義昭です。皆様と共に、東京支部の活動がより活発に、より価値あるものになるように努力したいと思いますので、よろしく願い申し上げます。最初に、これまでの東京支部の様々な活動に多大なご尽力を頂いた、徳田英幸前支部長、東京支部役員始め、会員の皆様に心から感謝申し上げます。

IEEE は、やや細分化された国内の学会と異なり、電気電子工学関連の多様な分野を網羅し、学術活動から標準化、出版、キャリア形成支援、そしてスタートアップ支援など幅広い活動をグローバルに行なっています。東京支部としても、会員の皆様の様々な活動を積極的かつ多面的に支援して参りたいと思います。私自身、学生時代から 40 年来の会員であり、大学院の研究成果を初めて英語で国際会議発表したのが、1988 年にボストンで行われた IEEE 半導体レーザ国際会議でした。これまで主に Photonics Society (PS), Electron Devices Society (EDS) と関わりを持ってきました。2004 年には、選挙によって Photonics Society の前身である Lasers and Electro-Optics Society (LEOS) の理事に選ばれ 3 年間務めたほか、2010 年には PS Japan Chapter の Chair を務めました。IEEE での学会活動を通じて、世界中の研究者たちと学術研究コミュニティを形成することの大切さを経験することができました。今般東京支部長を拝命することとなり、これまで学会から頂いた恩に少しでも報いることができればと願っている次第です。

東京支部の現状を見ますと、国内のさまざまな学会が会員数の減少問題に直面しているにも関わらず、約 7 千名の規模を維持しています。また、企業所属会員の活動が活発であることも特長と言えます。とはいえ現状に甘んじることなく、東京支部の価値を一層向上する施策に取り組んで参りたいと存じます。特に今期は、1) フェロー・シニアメンバー等ハイグレード会員の増強、2) IEEE マイルストーン受賞数の増加、3) Student Branch 活動の支援、4) 国内他学会との連携、に努めて参る所存です。

昨年は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行により、世界が未曾有の危機に見舞われました。その影響は東京支部の活動においても大きく、オンラインでの活動を主とせざるを得なくなりました。オンラインにより、移動コストゼロ、移動時間ゼロ、会場費ゼロとなり、また時差を調整すれば

世界中どこからでも参加が可能となる一方で、新たな出会いはなくなり、ヒューマンネットワーク形成の観点では大幅に後退する結果となりました。今期においては、見出されたオンラインのメリットを活かしつつも、対面でなければ得られない伝統的な学会価値も取り戻して参りたいと思います。

これからも東京支部にご支援ご鞭撻いただけますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

IEEE東京支部事務局からのお知らせ

Tokyo Bulletin はメールにて発行させて頂いております。

2021 年のメンバーシップ更新はお済みでしょうか？ [Web Account](#) をご登録されますと、本部ホームページからオンラインで [更新お手続き](#) ができます。

東京支部では会員の皆様のシニアメンバーへのアップグレードを推奨しております。本部ホームページ上で [Online 申請](#) ができます。詳細については [Senior Member 申請方法](#) をご参照ください。

住所等のご変更は、必ず IEEE 本部に届け出てください。 [Web Account](#) をご登録されますと、[Online](#) でのご変更が可能です。

会員の皆様からのご意見、ご要望などのお問い合わせは tokyosec@ieee-jp.org までお願いいたします。